

# 砂田が丘通信

第7号

平成26年(2014年)5月13日(火)

秦野市立大根中学校長

## 授業参観・学級懇談会、ご参加ありがとうございました

10日(土)の日にはご参観及びご参加ありがとうございました。今年度は保護者、地域の皆様のご来校の機会として12月までに、4月、5月、6月に授業参観、7月三者面談、9月桜中祭運動の部、10月文化の部、授業参観、11月砂田が丘祭、12月三者面談と位置づけています。

さて、今回の授業参観は・・・1年生にとっては新たな中学校生活が始まって一か月が過ぎ学習方法にも慣れ始めたころの授業、2年生にとっては学習内容も徐々に難度が上がってくる中での授業、3年生にとってはまさに進路を意識しながらの授業、とそれぞれ意味合いが違う中での授業参観設定でした。いかがでしたか。



2年前に新たになった県公立高校入試制度の変った理由は、「学力の3要素を公平に評価するため」でした。一昔前までは、「学力」といえば「知識の定着」が中心であり、ペーパーの正解数が学力評価の基準でした。しかし現在、「学力」は「知識及び技能の習得」「知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3要素であり、知識を習得するだけでなく、その知識を用いて、例えば自分なりに考えそれをしっかり言葉や文章で表現したり、伝えたりする力、さらには様々な学習に対して意欲的に臨む姿勢が求められています。「授業」は、教科書を用いた「知識及び技能の習得」が中心にはなりますが、その中でも例えばグループ学習を組んで議論させてみたり、生徒自身による発表の場を設けたり、あるいは視聴覚機器やモデルを使って授業へのモチベーションを高めたり等の「多様性」のある内容を実践することを通して、幅広く学力を身につけられるように努めたいと考えています。

## 部活動保護者説明会へのご参加についてありがとうございました



部活動はスポーツや文化活動に生涯親しむ能力や態度を育てる効果を有しており、また学級や学年を離れて生徒が活動を組織し、展開することにより、生徒の自主性、協調性、連帯感などを育成し、なかまや教師と密接にふれあう場としても大きな意義を持つものです。この通信でも以前ふれましたが、12歳から

15歳という自我が育つデリケートな時期に必要なのはそれぞれの生徒の「自分の居場所」です。その中で部活動を自分の居場所にしたいと希望する生徒は、少なくありません。その実現のために学校としても努力したいと思いますが、平日朝、放課後、土日曜日、祭日、長期休業期間と、かなりの時間が対象になる活動でもあり、地域指導者の皆さんや保護者の皆さんとの連携も大きく必要となります。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。(「校長挨拶」より)

### 「全校集会」が行われました。そして「ブロック抽選会」も…!

5月9日、6校時に行われた体育館での全校集会、集会の中では19日から3週間の日程で教育実習を行う学生さんのご紹介を行いました。そしてその後行われたのがいよいよ桜中祭の「ブロック抽選会」！桜中祭実行委員長 ■■■■さんを中心に、生徒会長 ■■■■さん、運動の部委員長 ■■■■さん、文化の部委員長 ■■■■さんの進行のもとで、各学級の代表者により抽選が行われました。

### 今年度の桜中祭、各ブロック長とブロック構成を紹介します！

<b>Aブロック:ブロック長</b> ■■■■さん	「1-3」「2-2」「2-5」「3-1」
<b>Bブロック:ブロック長</b> ■■■■さん	「1-2」「2-1」「2-3」「3-2」
<b>Cブロック:ブロック長</b> ■■■■さん	「1-1」「2-4」「3-3」



### 【教育実習生は4名の方です】

■■■■さん…教科「英語」、指導教諭 辻田先生、学級は3年2組 での実習です。

■■■■さん…教科「社会」、指導教諭 小泉先生、学級は2年2組 での実習です。

■■■■さん…教科「体育」、指導教諭 山崎先生、  
学級は1年3組 での実習です。

■■■■さん…教科「数学」、指導教諭 小藪先生、  
学級は2年4組 での実習です。

では、また。

